

第42回近畿小学生バレーボール選手権大会出場 JVC湖南の皆さん

市内の女子バレーボールチームJVC湖南が11月14日の県大会Aゾーンで優勝し、第42回近畿小学生バレーボール選手権大会に出場しました。現在19人で活動し、令和3年度で引退となる6年生は「つらい時もあったけど、チームみんなで一致団結してプレーできました。この大会に出場できたことを励みに、これからもバレーを続けていきたいです」と語られました。



▲JVC湖南バレー 6年生の皆さん

湖南菩提寺スポーツ少年団の皆さん

市内の男子バレーボールチーム湖南菩提寺が県大会で優勝し、その後に行われた第42回近畿小学生バレーボール選手権大会に出場しました。勝って楽しくをモットーに現在12人で活動しています。メンバーの飛希さんは「しっかり練習してきたことを生かすことができました。この経験を大切に、これからもバレーを続けていきたいです」と語られました。

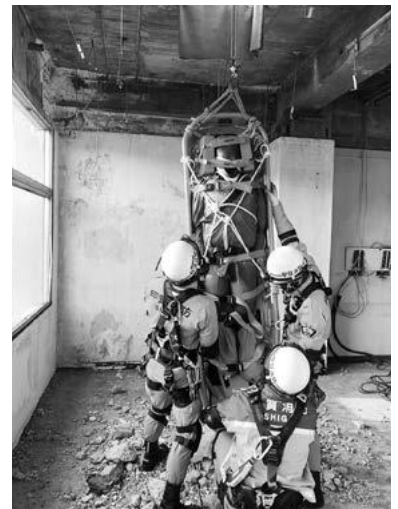


▲湖南菩提寺スポーツ少年団の皆さん

解体予定の建物を活用した 消防救助訓練を実施しました！

湖南中央消防署は令和3年12月16日から令和4年1月16日までの1か月間、JAこうかの協力を得て、解体予定の建物を活用した訓練を実施しました。

訓練では、火災現場における消火・救助活動、要救助者にアクセスするための建物の破壊、ロープレスキューを用いた想定訓練を行いました。今後も精力的に訓練を行い市民の安心・安全に努めていきます。



国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」で ウツクシマツの苗木を補植しました

平松のウツクシマツ自生地が国の天然記念物に指定されて昨年度でちょうど100年。マツ枯れで激減したウツクシマツを再生し昔の自生地の姿を取り戻すため、昨年度認定された「平松のウツクシマツ自生地保存活用計画」に基づき、3月13日、40本のウツクシマツの苗木を自生地内に補植しました。このうち、市長と平松のウツクシマツ自生地保全活用協議会会長がウツクシマツの再生を願い、記念に1本ずつ補植しました。



▲ウツクシマツの補植をする様子